

特別講演会

主催：先導物質化学研究所

共催：精密有機合成化学リサーチコア

題目：新規カルバペネム系抗菌薬の開発研究

講師：杉元 裕一 博士

（万有製薬株式会社つくば研究所）

（九州大学先導物質化学研究所非常勤講師）

日時：2005年12月2日（金）午後3時30分より

場所：理学部化学第1講義室（2号館3階2349室）

杉元博士は創薬研究の第一線でご活躍中の合成化学者です。本講演では MRSA と緑膿菌の両者に抗菌活性を示す新規抗生剤開発の経緯と全体像について、体験をまじえた分かり易いお話をして頂く予定です。

製薬企業における開発研究の進め方について、具体的なお話を聞くことのできる貴重な機会です。多数ご来聴くださいますよう案内申し上げます。

要旨：近年、臨床の現場において問題となっている代表的な耐性菌として、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）及び緑膿菌が挙げられる。しかしながら、現在市販されている抗菌薬の中で両者に有効な薬剤はない。本講演では、抗MRSA及び抗緑膿菌活性を同時に併せ持つ新規カルバペネム抗生剤を見出した経緯について述べる。これらの抗生剤は構造的にも既知薬剤とは異なるユニークなものであり、その立体選択的合成法・感染モデル試験・基礎毒性などについても言及する。

連絡先：

九州大学先導物質化学研究所

稲永純二（電話 642-2733、inanaga@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp）

古野裕史（電話 642-2734、furuno@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp）